

MST コーポレーション 新入社員研修

日程:2021年9月3日

場所:株式会社 MST コーポレーション 奈良県生駒市北田原町 1738

参加者:赤尾 宮川 津田(康) 山口(耀) 大岡 廣田 西田 寺尾

内容:座学

★会社概要説明

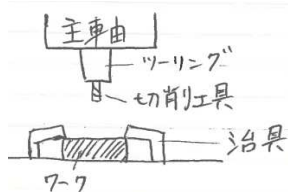
★機械と工具の基礎知識

○工業製品ができるまで

材料を工作機械へ⇒部品に⇒組立⇒工業製品

○ツーリングの役割

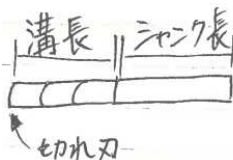
- ・多種多様な切削工具取り付けが可能



○刃物の種類と用途

削られる材料(被削材)。切削中刃物には高熱が発生する。

- ・ドリル



- ・タップ (ハンドタップ、ポイントタップ、スパイラルタップ、溝なしタップ)
- ・リーマ 仕上げ加工
- ・エンドミル 溝加工、側面加工
外周面に切れ刃有り
ポケット加工などに使用
超硬(重い)、ハイス



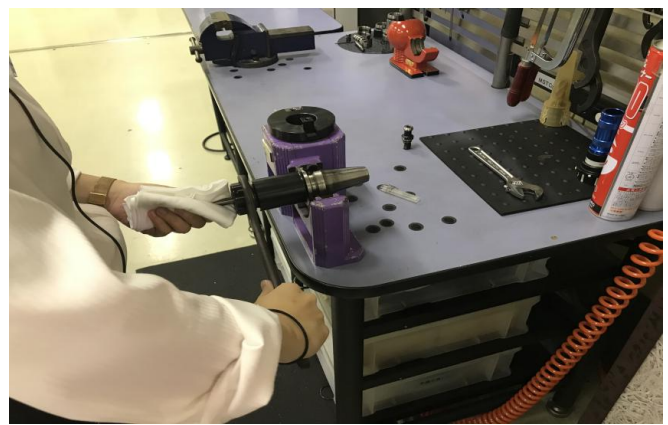
〈種類〉

- スクエアエンドミル (溝加工)
- ラジラスエンドミル (荒化工)
- ボールエンドミル (3次元形状、仕上げ加工)
- ・バイト (旋盤加工)

- ツーリングの製造工程と工作機械
- ツーリングとは
- ★マイクロの世界、測定体験
 - 手の感触だけでアルミ箔の厚さ、溝とブロックの隙間、段差の高さを μm 単位で測定。

内容：工場見学

- MST 工場内の機械やツーリング説明。
- レンチを使い、ツーリングに工具の付け外し。
 - レンチを使うと力の加減で製造にも大きく関わるので、ホルダの材料と刃物の材料の熱膨張率の差を利用したスリムラインを紹介して頂きました。
- ホルダの形問わず使える温風式ヒーターを使い、ホルダを熱して工具を取り付けて冷却することで、均等に挟むことができる。



【所感】

今回、MST コーポレーションにて、ツーリングの基礎知識や製造現場を見学させていただきました。

マイクロの測定体験では、旋盤研修で μm 単位でワークを作成しましたが、手の感触だけでは何 μm なのかや高さの違いが全く想像もつきませんでした。

工場見学では数千万から億を超える機械が多く設置されていて初めて見るものばかりだったのでとても刺激的でした。

工場内では見たことあるような工具や測定器はありましたが、これは何に使っているんだろうというような製品も多くあり、今回の研修では、製造過程を目で見て、手に触れて詳しく使い方を学ぶことが出来ました。

MST では製品が出来てからではロスになることから品質管理部署がなく、一つ一つの工程で責任を持って作業をするもお話もありました。それは自分自身にも言えることなので常に何事にも興味持ち取り組みたいと思います。

まだまだ商品の知識が浅いので、積極的にこのような研修には参加して一つ一つ知識を増やしていこうと思います。

以上